

Planning and CoordinationMACHINE TIME EXECUTIONREPORT (2002-4-2 CYCLE)

Experimental Group	T529(π AX)	Reporter	篠原厚
Scheduled Period and Shift	11/20 1:00 - 12/13 17:00 67 shifts	Main, Sub, Para	Para

Experimenters 二宮、笠松、木下、谷、長谷川、菊永、浜島、高宮、佐藤、篠原

SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS

- 1) セットアップの改良
 - ・低エネルギー領域測定法の改良
 - ・鉛チェレンコフカウンターのセットアップ
- 2) 各種基礎データ測定・相関測定
測定試料（下記参照）
- 3) 結果
 - ・測定系のセットアップ完了
 - ・相関測定は当初の予定は一部統計に問題がある可能性があるが終了した。
（金属板（Zn・Mo・Ag・Sn・Ta それぞれ厚み二種類）
金属化合物（ZnO・MoO₃・SnO₂・ZnS）
その他（C・S・D₂O・H₂O・CH₃CH₂OH・（CH₂）_n）
std試料）

EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.

マシンタイム：28×0.7/1.0 + 39 = 58shifts

ビーム状態：0.7×10¹²ppp (28 shifts) 1.0×10¹²ppp (39 shifts) 2.0×10¹²ppp (<0.5 shifts)

DownTime：断続的 >0.5shiftsダウン

COMMENTS

・おかげさまで当初の最小限の目標には達しました。ただ、積分の統計が最終的には問題になるため、より強いビームもしくはマシンタイムが望まれます（テスト実験ゆえ要求しにくいですが）。

・オフビームで同セットアップを使った基礎データ測定（光子励起による電子X線測定）を1月に行いたく思います。 π AXのセットアップ及び π μ ケーブを使用します。（手続き等がありますか？）